

【新聞の見出しを見て】

ある自動車メーカーの新聞広告の見出しに、「お店にかかってきた電話は、お客さまからの SOS だと思おう！」というものがあり思わず目が止まってしまいました。お店も学校も同じです。正直なところ「さんからお電話です」と言われると、「何かあったかな？」とドキドキすることもあります。これは学校から電話をもらった保護者も同じでしょうね。ましてや、外部の方からの電話ともなれば、こちらが嬉しくなるような話はまずないですからなおさらです。しかし、電話で伝えたいことがあると考えわざわざ受話器を取られる方には、それなりの思いがあるわけですから、私たちとしてはその思いをしっかりと受け止め、そのことに対して何ができるかを考えなければなりません。

ただ、電話は便利ですが、伝えたいと思うことがらの内容によってはあえて電話で話さずに直接会って話した方がよいこともあります。できれば、電話でのやりとりは、連絡程度の短時間で済むものにした方がよいと考えます。

【過激ゲーム？】

この春に発売されたテレビゲームソフトで、売り上げが200万本を超えるような大ヒットをしているものがあるそうです。そのゲームソフトのパッケージには「15歳以上対象」と書かれているそうですが、なぜかユーザーは大人から小学生までと言います。暴力シーンが含まれているために、小学生の親からは不安の声が出ているとか。

私は幸いなことにこういうテレビゲームソフトのことについてはほとんど知識がありませんので、この世界のことについて論じる立場にないのかもしれませんが、ゲームが子どもに与える影響についてはいろいろな意味で心配していることは確かです。

子どもにねだられて買ってあげたゲームソフト。「みんな持ってるんだよ」という言葉に親の心は揺り動かされるのかもしれませんが、しかし、買ってあげてから後悔するという失敗は繰り返してはいけません。

子どもたちのエネルギーの向く先はどういうところなのか、そこには親の願いがもっと反映されてよいのではないかと思うことがあります。

【暴力は許さない】

子どもたちの遊びの中に「ごっこ遊び」というものがあります。「ごっこ遊び」と言えばかわいい遊びのように思えますが、その中の「戦いごっこ」というものはどうも感心しません。

先日、保健室の記録に、友だちの手が顔に当たったことが原因による顔面打撲とありました。実はこれもいわゆる「ごっこ遊び」の中で起きてしまった怪我だということでした。

さて、学校では子どもたちの中でしばしば「たたいた・なぐった・けた」などの乱暴な行為が見られます。「戦いごっこ」と関係づけることは無理があるのかもしれませんが、簡単に手を出してしまう傾向が見られる子がいるのは事実です。

私たちは、これまでも子どもたちの乱暴な行為に対して、絶対に許されないこと、いけないこと、相手を大切に考えていないということであることを伝えてきているのですが、今後は教員からの声かけだけでなく、保護者からのご指導もいただきながら、より強い姿勢で対応していきたいと考えております。

【学校説明会を終えて】

児童募集活動の一つとして、学校で行う説明会があります。今年は、これまでの2回の説明会の間に、「低学年の子どもたちの学校生活」「高学年の子どもたちの学校生活」というテーマでそれぞれ1回ずつの説明会を行いました。それらが終わってから、「高学年の子どもたちの学校生活」の説明は、もしかしたら低学年の子どもたちの保護者の方々にも聞いていただいてもよかったのかなと思いました。

今年の児童募集（入学試験）では、保護者面接を行うことになったことと、試験の日程が早まったことが多くの関心を集めていました。説明会への参加者から今年の志願者数を予想することはなかなか困難なことですが、今回の変更による影響は少なからずあると思われます。

募集活動をしていていつも思うことですが、学校説明会に参加される方から「知人のお子さんが通学している」「電車の中で行儀よく本を読んでいる子どもの姿を見て」「中高生の様子を見て」などの様々な声を聞くことができます。全てが当たっているかどうか疑問に思うこともありますが、いずれにしても、子どもたちの通学途中の様子や、保護者の皆さんが活動されている場面での会話などが、この小学校のことを多くの方に知っていただくことに結びついていることがよく分かります。募集活動は私立学校では特に大切にしなければならないことであり、子どもたちそして保護者の皆さんにもこういう形で参加していただいていることとなります。

お知らせ:校長室での「懇話会」は、9月前半から始まる入試の保護者面接などのためにしばらく実施できません。